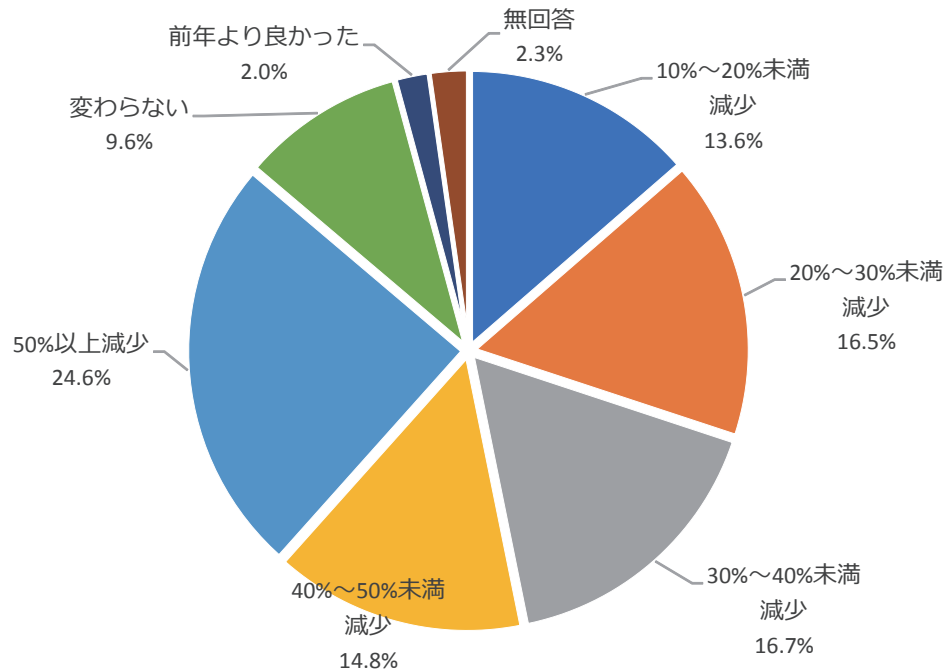
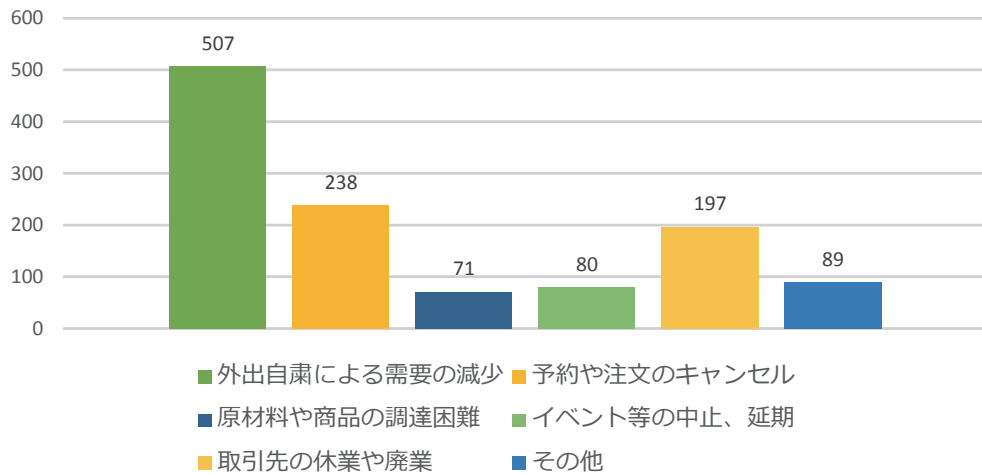


新型コロナ感染拡大による経営実態アンケート（全体）

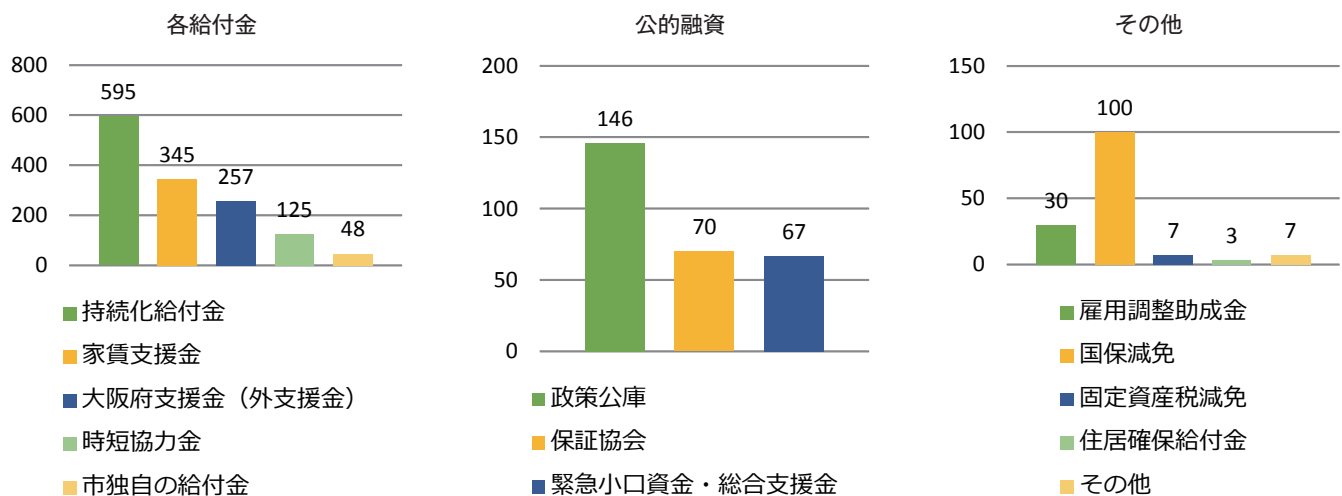
1. 2020年の売上は前年と比べてどうでしたか



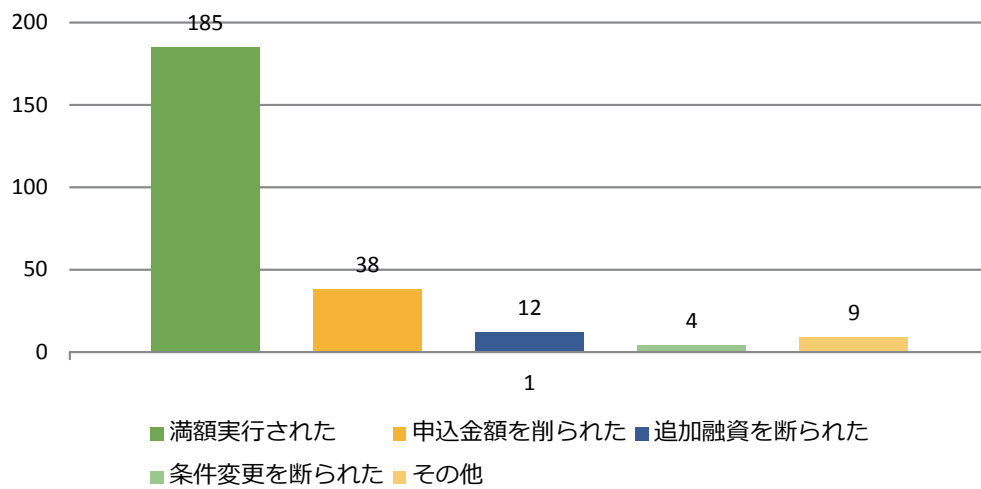
2. 売上減少の主な理由について当てはまるものを教えてください（複数可）



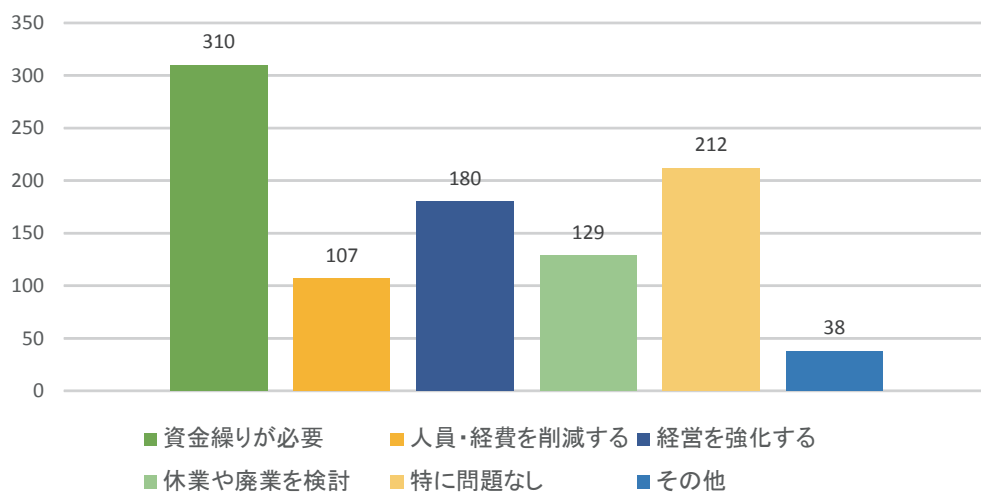
3. コロナの支援制度で活用したもの（申請中も含む）に○を付けて下さい



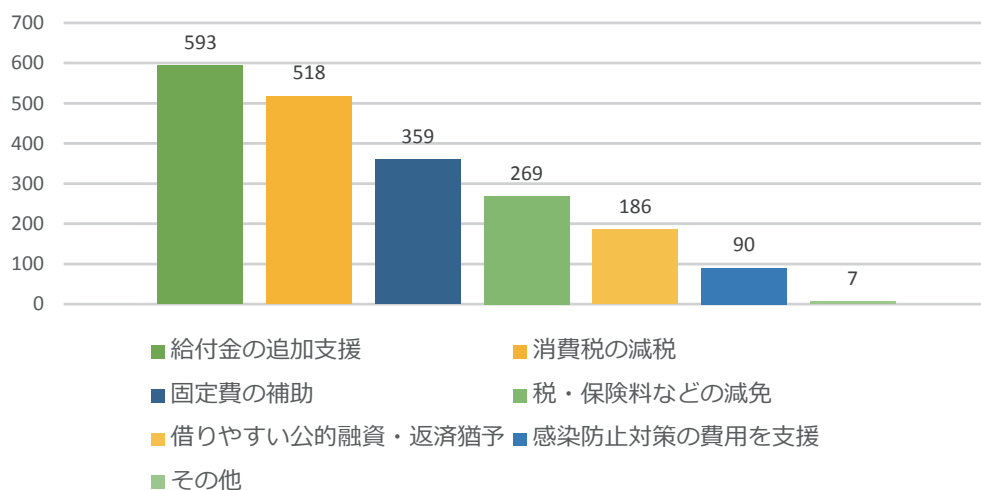
4. 融資や返済猶予を申し込まれた方で、以下に当てはまるものを教えてください



5. 今後の見通し、検討している事を教えてください（複数可）



6. 国や自治体に求める要望を選んでください（複数可）



(質問2)の「その他」の回答

- ・受注減少
- ・仕事減
- ・テナント解約
- ・取引先の受注減
- ・レジ袋有料化
- ・決まっていた仕事先の方の収入が減り中止になった
- ・テレワークで洗濯物減
- ・景気の悪化、10%増税
- ・取引先の減産
- ・休業
- ・時短作業
- ・顧客の銀行融資の減額等
- ・緊急事態宣言の間休業していたから
- ・仕事受注減
- ・入室禁止
- ・たばこ税の値上げ
- ・取引先の時短及び営業自粛
- ・得意先等経費削減
- ・時短営業要請により3時間しか営業できなかったため。
- ・休業、時短要請
- ・受注減少
- ・全体的に動き悪い
- ・契約の解除
- ・年令的なもの
- ・高齢利用者の入院及び死亡
- ・新規工事の減
- ・発熱による自主的療養、現場のストップ
- ・工事開始の遅れ
- ・仕事が少なかった
- ・海外の景気が悪い
- ・企業の警戒と自粛
- ・工事の延期、営業活動の自粛
- ・修学旅行の中止、外国人観光客の減少
- ・注文の減少
- ・時短
- ・仕事が少ない
- ・室内に入るためだめ
- ・休業によって
- ・休業のため
- ・取引先の売上減少
- ・コロナ・緊急事態宣言による休業
- ・テナント需要の低迷
- ・府からの時短・休業要請
- ・時短要請
- ・来店客減少
- ・個人の消費
- ・取引先の受注減
- ・遠方のお客様の来店がなくなった
- ・取引先が仕事減少のため自社製造するようになり仕事が減少
- ・4～5月コロナで船便とまった

(質問3)の制度の中で活用しなかった、または出来なかった理由があれば教えて下さい

- ・売上が50%の減少に満たないため何の支援も受けられない
- ・売上落ちなかった
- ・大阪市支援金期限遅かった
- ・時短協力金、ステッカー取得が遅くなった為
- ・持続化給付金売上1/2には至らなかった
- ・前年に店近くに他の弁当屋が出来て2019年に売り上げが落ちたため2020年は持ち直し変わらず。
- ・個人で緊急小口・総合支援を受けています
- ・50%以下です
- ・詳しく知らないままだった。
- ・R2年9月に開業したばかりのため
- ・支援割合に満たなかったため
- ・妻の支えがあったため生活出来ました。
- ・持続化給付金⇒5割減までにはいたらなかったがそれに近いところまで売上が減少することが多かった、ギリギリのところまで活用する事が出来なかった。
- ・家賃支援金、家主さんが変わって出来なかった。
- ・自主計算出来ていなかった。
- ・利用していない
- ・持続化給付金を貰ったらこれ以上どれだけ追加申請が可能なのか分からないので持続化給付金のみです。持続化給付金の2回目を考慮して貰えたらと願っているから。
- ・公的融資の政策公庫コロナ以前に返済に遅れがあったため断られた
- ・家庭の状況
- ・売上が良くなったため
- ・家賃支援金(家主とのおりあい)
- ・持ち家だから家賃支援ができなかった。
- ・申請期限が過ぎてしまった
- ・持続化給付金、時短協力金など今申請中
- ・家賃支援給付金 大家のサインが必要な書類を用意できない(大家が拒否している)
- ・国保減免 去年無職だったため(給料を上げていなかったため)
- ・丕切がわからなかった。1日遅れだった。
- ・期限に間に合わず、申請出来なかった為。
- ・友人にきいて申請に来ました。
- ・大阪府支援金の内容がわからなかった。大阪府支援金は不採用になった。
- ・固定資産税減免がつかえなかった

- ・返済しなくてはならないから
- ・ナシ
- ・時短協力金が申請したくても出来なかった理由は、(営業時間が) 7時頃までだった為です。
- ・大阪府支援金の時点では、(売上が) 半減までしていなかった。
- ・売上の減少幅が規定に合致しませんでした。
- ・売上50%以下又は3ヶ月継続30%減の条件があり、持続化給付金や家賃支援給付金に申請出来なかった
- ・家賃支援給付金 大家のサインが必要な書類を用意できない(大家が拒否している)
- ・手続きがむずかしい。
- ・今が大変だから
- ・返済に負担がかかるので・・・
- ・家賃支援金を申請したいのですが、家主が署名してくれない
- ・給付金をこれから
- ・まだもらえない
- ・どれにもあてはまらなかった
- ・(売上悪化などの) 移動がなかったため
- ・たすかります
- ・去年のオープンだったため
- ・利用していない
- ・他の制度をよく知らない
- ・売上はあまり下がってない
- ・2020年11月頃から影響が出て来た為、申請が出来なかった
- ・売上減少しなかった
- ・手続きができない。
- ・(制度があることを) 知らなかった
- ・固定資産税減免
- ・なんとか自力で頑張っています。
- ・特殊事情(廃業届け)
- ・家賃支援金申請出来ず、何等身で引っかかった。
- ・家賃支援金
- ・現在手続き中
- ・大阪府支援金(外支援金)の時は半減まではしていない。
- ・条件にあてはまらなかった
- ・活用したくても、できないのが・・・
- ・R2年2月3月はそこそこ売上がありましたが、外の月はほとんど売上がありませんので持続化給付金は申しこみできなかった。
- ・4月よりの出店の為
- ・売上げがあまり変わらなかったから
- ・事業所の契約が住宅用となっており、申請をためらった(家賃支援金)。
- ・家内は専従者として年20万円を税務申告していますが(もちろん源泉も支払っています)、雇用とは認められず申請できませんでした(2020年は前年比マイナス50%以上です)
- ・家賃支援金(持ち家のため活用できなかった)
- ・売上が少ししか落ちなかったので申請できなかった
- ・融資を受けても返済のめどが立たないので活用できない。
- ・ややこしすぎる
- ・ややこしい
- ・売上の減少がコロナによるものと思えなかったこと
- ・売上要件・手続の仕方がわからない。
- ・何とか前年に近い仕事があったから。
- ・知らなかった。対象でなかった。
- ・売上が前年通りだった為。
- ・売上が50%以下に減少しなかったため。
- ・所帯主が主人なのでできなかった。

(質問3)の「その他」の回答

介護事業慰労金

(質問4)の「その他」の回答

- ・利子が高い
- ・返済猶予を短くされた
- ・政策公庫300万円申込 → 100万円融資
- ・保証協会に申込額の3分の1を減額された。

(質問5)の「その他」の回答

- ・家計資金必要
- ・今後の見通しはつかないです
- ・融資申し込み
- ・難しい問題多々
- ・夜8時からする契約だったが家主と相談して6時から開けるようにした。
- ・午後より営業（スナック）
- ・ネット通販等新しい販売チャンネルの開発
- ・前と変わらず一生懸命やる事
- ・経営の不安
- ・予測不能。TV放送を見る限り毎日疑心暗鬼を募らせる一方。運を天に任す。ずっと巢籠り続行。次は何が出現。ビクビクしてる。
- ・経営縮小を検討中
- ・分からないのが実感今出来る事をするばかり。
- ・成り行き任せ
- ・建物が古くなってきたので補修費がかかりそうなのが心配。
- ・得意先次第
- ・今が必死で乗り切れることも難しいです。
- ・身体の心配してます
- ・人が来ず売上げが減少。
- ・考え中
- ・細々営業し、新地で昔を思い出せる漂う、明るい店にしたい
- ・なりゆきまかせ
- ・先細り
- ・転展を急ぐ
- ・注文がコロナ禍で減少している
- ・先が見えないので
- ・検討中
- ・夫を専従者にして、扶養家族にして、自分が扶養から抜ける
- ・個客の開拓に力を入れたい
- ・今ある仕事をこなし、メーカーが経営を持続してくれることを希望する
- ・継続のみ
- ・年金があるので、家賃もガレージ代だけなので、ほそぼそとなんとかいけている
- ・先行がわからないので
- ・今後の人生がしんばい。年のせいで。
- ・80才もすぎたので廃業も考えております。
- ・持家、人件費無しなのでなんとかやりくり出来ている
- ・何とも言えない。様子を見る
- ・仕入れ先が廃業しないか不安
- ・廃業しました。
- ・対策うてず
- ・年齢的に廃業を検討。今すぐではない。

(質問6)の「その他」の回答

- ・消費税の廃止
- ・同じ事のくり返しはやめてほしい。違う方法も考えてほしい。
- ・申請にまつわる書類等の簡略化と実行スピード
- ・感染対策備品等の費用
- ・消費税を0にする
- ・国民各人や外国から働きに来ている人にも各人50万円の給付金を出すべきだ
- ・持続化給付金など
- ・住宅ローンの補助
- ・ハードルが高いのとなによりも消費税減税でみんなが助かる
- ・コロナ禍の影響を受けているのは、宿泊業や飲食業だけではなく。全業種への支援を再考してもらいたい。(私としてはGo Toリフォーム等)
- ・一日も早いコロナの終息を願います。
- ・雇用調整助成金をコロナが収束するまで続けてほしい
- ・雇用調整助成金という制度があることをもっと広めてほしい。よくTVで従業員の生活のためとか言ってる人がいるけど制度を使えば守れるはず。会員の息子がコロナが原因で退職させられた人がいるが、助成金を使っていれば辞めずにすんだのではないかと思う。
- ・必要な財政出動は求めるが、後々、増税、負担増で返ってくるのは不安だ。
- ・売上に見合った補償が必要
- ・消費税の廃止
- ・ミナミの治安、風紀向上
- ・医療の充実